

研究計画書

<b>ゼミ名</b>	石川ゼミⅡ	<b>チーム名</b>	チャリデキタ
<b>タイトル</b>	七十六億人七十六億色		
<b>テーマ群</b>	c)公共経済		
<b>メンバー</b>			
<b>研究計画内容</b>	<p>皆さんは、何らかの障がいを持った人を見て「かわいそう」だと感じているでしょうか？障がいを持たない人に比べると、できないことが多いから「大変」だと感じるかもしれません。もちろん障がいによって制限されることはあります。しかし、彼ら彼女らが「何もできない」わけではありません。</p> <p>私たちは、障がいを抱いた人々の可能性を、本人を含め私たちの社会が理解するために彼ら彼女らに様々な機会を提供しています。</p> <p>私たちの目的は、「レッテルで物事を判断しない」社会を創ることです。そのために、大学からの助成金を受け、何らかの生きづらさを感じる子どもたちが「生きる力」を身に着けることができるお祭りやイベント、大勢が集まる場で社会経験を培うことができるイベントなどを企画・実施してきました。これらを雇用環境に恵まれない方々とともに実施し、「協力しあうことの楽しさ」、「新しいもの創り出すことの感動」を分かち合うことで一人でも多くの人々が自身の将来を前向きに考えることができるような機会を提供してきました。</p> <p>私たちの生活は限定的であり、大きな社会にとってはほんの小さな影響力しかないかもしれません。ただ、私たちが理想の社会に向かって一歩前に踏み出すことで社会が決めつける障がい者へのレッテルを少しでも取り除くことができると確信しています。</p> <p>「障がい者＝かわいそう」というイメージは、単に社会そのものが創り出した固定概念です。私たちの発表を聞き、少しでも多くの人が一人ひとりの個性や能力をレッテルや先入観なしで見ることの大切さに気づいていただけると嬉しいです。</p>		